

## 製造部關係設備

經節、罐詰、蒲鉾、貝細工等ノ製造試験竝ニ化學實驗ニ要スル設備及ビ冷蔵能力十五噸裝置ノ冷蔵庫ヲ新設セリ、但シ冷蔵庫ハ其ノ設計及検査ヲ水産局ニ依頼シ宮田技師、高島技師、栗屋技師、中村技手等其ノ衝ニ當タラシタリ。

### (A) 製造試験設備

#### (イ) 建物

品目	摘要	坪數
製造試験室	木造平家建一棟	二八〇〇
調理場	木造平家建「トタン」葺一棟	二四〇〇
同下家	煮蕪竈、上家トス	六〇〇
焙乾裝置室	木造平家建瓦葺一棟	二〇〇〇
物置	木造平家建瓦葺一棟	一八〇〇
燻蒸室	鐵筋「コンクリート」平家建一棟	三〇五〇
燃料物置	木造平家建板葺一棟	一〇五〇
貝細工室及物置	木造平家建瓦葺一棟	二一〇〇
實驗室	木造平家建瓦葺一棟	二一〇八七五
渡廊下		四〇八二

蒸 餾 室

木造平家建瓦葺

三〇〇

ドラフト及エア瓦斯發生室

木造平家建瓦葺

三〇三二五

ポンプ置場

製造試験室一側へ葺下シ

一〇四〇

(ロ) 其他設備機械器具ノ主要ナルモノ

品 目

摘 要

數 量

魚 槽

煉瓦造リ魚類洗滌用

一 箇 所

煮 熟 竈

經二尺八寸鑄釜用旋廻式單竈

二 個

火 山

煉瓦造鑿節セイロ四枚架ケレール付

一 箇 所

濕 乾 室

鑿節セイロ二枚差シ四列九段ノモノ

二 室

乾 場

幅八間長十七間石紛叩キトス

一 箇 所

ボ イ ラ ー

堅型火管式徑五尺給水ポンプ其他附屬付

一 式

エ ン ジ ン

横置式五馬力

一 臺

眞 空 卷 締 機

林鐵工所製一臺及眞空ポンプ眞空タンク等附屬品付

一 式

アドリアン型シーマー

東洋製罐株式會社廣島工場製

一 臺

KHホームシーマー

經三尺深五尺厚力計溫度計付

一 臺

殺 菌 釜

經三尺深五尺厚力計溫度計付

一 臺

二 重 釜

二 個

石川式播潰機

一 臺

ネシローラー

肉挽機

二馬力单相モートル

配管傳導裝置

鯖蒸煮裝置

經節、蒸籠、煮籠、組板、及磅秤、并其他製造試驗用器具類

給水設備 水道式ウオルターポンプ二號一臺、天水たんく一箇所及井戸一箇所ヲ設備ス

電力配線設備 冷蔵庫ヨリ實驗室、製造試驗室ニ至ル配電工事設備

エア瓦斯設備 島津式發生裝置(五十燈用)並ニ實驗室トラフト内ノ配管

其他實驗用器具類サウトリウス化學天秤一箇、原素分析裝置一式、ライツA型顯微鏡一箇、ミクロトーム一箇、ズホスキー氏比色計一箇、續取望遠顯微鏡一箇、ロータリー真空ポンプ一箇、真空蒸發裝置一組、分子量測定裝置二箇、スライクス氏アミノ窒素定量裝置二箇、ケルダール氏窒素定量裝置四箇架一組、ソツクスレット氏脂肪抽出裝置三箇架一組、水銀氣壓計一箇、瓦斯分析裝置一箇、其他

(イ) 建物

(B) 冷蔵庫

品目

摘要

坪數

建物

鐵筋コンクリート二棟外ニ「コンデンサー」受皿(四・八六) 六〇・〇〇

内譯

冷蔵庫  
機械室  
事務室  
処理室  
(ロ) 機械器具設備  
原動機

鐵筋コンクリート造 三十坪  
同 十五坪  
木造 五坪  
木造 十坪

アンモニア壓縮機  
獨逸ベレッツ會社製ソリッドインシエクシオン式デイ  
ゼルエンデン三十五馬力

アンモニア凝縮機  
米國ビルター會社製單働堅型複筒密閉式(7 $\frac{1}{2}$ "x7 $\frac{1}{2}$ "x2)  
回轉數二〇六  
抽油機器  
單管ブリーダー型(2 $\frac{1}{2}$ "x20"x12)

アンモニア受液槽  
分液器  
冷却水ポンプ  
米國コールツ會社製、揚水量一分間三十三カロン  
冷却管  
アンモニア配管冷却水配管傳動裝置  
發電及配電設備

魚類凍結用ブライントラック

臺 臺 列 筒 筒 筒 式 式 筒

オゾン發生器

タイコスレユードンダグサーモメーター

(ハ) 其他雜器具

冷室保持溫度

冷 藏 室

華氏 五 度

五 室

凍 結 室

華氏零下二十度

一 室

冷藏品收容量

鮮 魚 約

一四、四〇〇貫

冷 結 能 力

一日約五〇〇貫(一回二五〇貫二回作業)

凍 却 方 式

アムモニア直接膨脹式

(附記) 本冷蔵庫ノ機械竝ニ建物仕様書及豫算ハ日本冷凍協會誌第三卷第二十七號ニ記載アリ。

尙右諸設備ノ中濕乾室、火山及煮熱竈ハ當業者ノ参考ニ資スルタメ仕様書竝ニ設計圖ヲ添付ス。

(1) 濕 乾 室 仕 様 書

濕乾室地形及竈ノ部

一、基礎根掘搗キ堅メ 根掘リハ別紙圖面ニ依リ掘リ取り底面水平ニ搔キ均シ堀鑿土ハ埋メ戻ヲ見込ミ其他ノ殘土ハ係員指揮ノ通り處理シ根掘検査済ノ上割栗石各片ヲ密接シテ小端立ニ列ベ更ニ目簣砂利ヲ加ヘ重量四十貫以上ノ眞粹胴突テ高サ三尺以上引揚ゲ每尺面當リ五回以上搗堅メ層ニ仕上グベシ。

一、基礎コンクリート材料 砂ハ塵芥等ノ混入セザル粗メ勝良質ノモノヲ撰用シ碎石ハ山石ノ硬質ニシテ經一寸以下何

レモ良ク洗滌シ「セメント」ハ農商務省告示第四百八十五號ノ試験法ニ合格シ且ツ濕氣ヲ帶ビザルモノヲ使用シ指定ノ調合ニ據リ空練リ水練リ共三回以上練リ合セ下地割栗接觸面ハ充分水浸ヲ行ヒ入念打込ミ小棒ニテ搗堅メ別紙圖面ノ通り施行スベシ。

一、擁壁及竈 煉瓦ハ東京型ニシテ品質燒過並燒共一等品何レモ見本品ヲ標準トシ焙燒充分ニシテ缺損缺裂等ナク吸水量ハ浸水二十四時間ニ燒過ハ百分ノ八並燒ハ百分ノ十二以下ニシテ洗出積ニ使用スル分ハ形狀及稜角正シク規定寸法ト百分ノ二・五以上ノ相違ナク略色揃ノモノヲ使用スベシ。

一、煉瓦積用モルタル調合 「セメント」一、洗砂三ノ割合ニシテ係員ノ示定ヲ受ケ充分煉リ合セタルモノヲ使用スベシ、但煉合セ後一時間以上經過シタルモノハ使用スル事ヲ得ズ。

一、煉瓦積方 擁壁間仕切竈其他ノ煉瓦積ハ厚サ高サ等總テ圖面ニ據リ煉瓦割附ヲナシ、煉瓦ハ適度ニ浸水セシメ泥土其他ノ汚染ヲ洗滌シ「モルタル」ヲ隙間ナク填充シ特ニ示定シタルモノノ外總テ英式積トシ遺形ニ倣ヒ通り良ク隅々垂直ニ積立テ目々積終リハ本逃ゲトシ喰ミ出「モルタル」ハ直ニ掃除シ焚口廻リ鐵物積ミ込ミ及煙道等ハ係員指揮ノ通り煉瓦積ヲナシ指定ノ通り積立テ焚口表面見ヘ掛ケル分ハ化粧目地塗り共施スベシ。

一、防水「モルタル」 底面及擁壁外部ハ「セメント」一洗砂二・五ウオータイト百分ノ五ヲ混和シ充分煉リ合セ厚五分以上塗り立ツベシ。

一、薪置場 長二十四尺五寸巾一尺九寸五分高サ九寸「コンクリート」調合工法共基礎工事同斷ニシテ上塗り「セメント」一、砂三「モルタル」厚三分以上引キ通シ良ク塗り立ツベシ。

木材及木組ノ部

一、土臺木、杉長二間四寸角木造リ接手金輪繼ギ柱柄穴ヲ彫リ隅々目違留柄指シ楔占メ下部三尺内外ニ太柄植ヘ込ミ擁壁上端ヲ密著ニ据ヘ附クベシ。

一、床梁、杉長二間三寸五分角及四寸角共柱穴ヲ彫リ兩端蟻掛ケニ取付クベシ。

一、柱、杉長十尺四寸角貫穴胴縁胴差ニ階梁等ノ柄穴ヲ彫リ羽目板小穴突キ上下柄附ケ建込ミ込栓打堅ムベシ。

一、管柱、杉六尺五寸、三寸五分角及四寸角共上下柄附蒸籠機滑リ木等取付ケ仕口切り刻ミ建附クベシ。

一、各胴差、柱柄穴ヲ彫リ兩端柄差シ込栓打堅ムベシ。

一、二階梁柱、柄穴ヲ彫リ兩端蟻架ケニ取附クベシ。

一、軒桁、杉長二間四寸角接手追掛ケ込栓ニ本打柱柄穴ヲ彫リ架ケ渡スベシ。

一、梁、杉長二間四寸角二ツ切り柱柄穴羽目板小穴突キ兩端蟻掛ケニ取附クベシ。

一、束、杉長二間四寸角切り使ヒ羽目小穴突キ上下柄附建附クベシ。

一、小屋桁、長二間三寸五分角接手追掛ケ繼ギ束穴ヲ彫リ架ケ渡スベシ。

一、棟木、杉長二間<sup>四寸五分</sup><sub>四寸</sub>接手追掛繼ギ束穴ヲ彫リ屋根板小穴突キ上端小返ニ削リ架ケ渡スベシ。

一、破風板、杉長十尺大貫二ツ切り上部拜ミ留メニ仕合セ釘打取附クベシ。

一、屋根板、杉七分板小節抜節破損ナキモノヲ使用シ兩面削實矧ギ隙間ナク張り立テ二寸釘打附クベシ。

一、通貫、杉長大貫接手中眞ニテ追掛ケ繼ギ圓面ノ通り差シ通シ堅木楔占メ附クベシ。

一、胴縁、杉長二間大貫二ツ割り左右彫リ込釘止メニナスベシ。

一、外部羽目板、杉四分板片面削リ傍摺り合セ張り立テ目板巾一寸二分ニ挽キ割巾ニ釘二本宛打附クベシ。

- 一、内部羽目板、杉六分板拔節破損ナキモノ片面鉋削リ實矧ギ密接ニ張り立テ二寸釘打附クベシ。
- 一、切妻羽目板、杉七分板兩面削リ實矧ギ上下小穴入レ密接ニ張り立テ二寸釘打附クベシ。
- 一、正面窓敷、杉長七尺四寸及五尺物共<sup>四寸</sup>三寸戸當リ決リ缺キ兩端柱ニ缺キ込ミ取附ケ釘止ニナスベシ。
- 一、蒸籠機、杉長七尺一寸二分角ニ木造リ柱ニ少シク缺キ込ミ通り良ク三寸釘ニテ打附クベシ。
- 一、蒸籠滑木、大貫ニツ割リ木造リ柱面並缺キ込ミ別紙圖面ノ通り取附ケ二寸釘打附クベシ。
- 一、蒸籠出入口扉框、見附三寸見込一寸三分上下機見附四寸見込一寸三分中機見附五寸何レモ柄指シ鏡板小穴突キ鏡板正四分實矧ギ内外二枚合セ中間絶縁石綿布ヲ挟入レ總テ密接ニ指立テ眞鍮磨キ長五吋蝶番三枚釣込ミ締金物眞鍮磨長厘附丸玉箱錠彫リ込ミ堅固ニ取附クベシ。
- 一、二階窓扉、材料寸圖仕口共前同斷取附クベシ。

## (2) 火山仕様書

### 火山地形及煉瓦積ノ部

- 一、基礎根堀リ搗キ堅メ仕様工法共濕乾室ニ準ジ施行スベシ。
- 一、基礎「コンクリート」材料品質調合法共濕乾室基礎ニ準ジ別紙圖面ノ通り施行スベシ。
- 一、擁壁及間仕切ニ使用スル煉瓦品質其他共濕乾室煉瓦仕様ニ準ジ施行スベシ。
- 一、煉瓦積「モルタル」調合其他前同斷施行スベシ。
- 一、煉瓦積方仕様工法共濕乾室煉瓦仕様ニ準ジ施行スベシ。
- 一、防水「モルタル」擁壁外部及底面共厚五分以上塗立テ調合及仕様共濕乾室仕様ニ準ジ施工スベシ。



## 木材及木組ノ部

- 一、レール臺木、杉二間三寸五分角通り良ク木造リ接手金輪繼ギ間仕切臺木取附仕口切り刻ミ下端三尺内外ニ大柄植ヘ込ミ擁壁上端ニ引通シ良ク据ヘ附クベシ。
- 一、間仕切臺木、三寸五分角兩端納指シ堅木割楔占メ附ク其他ハ蟻架ケ取附ケ大釘打附クベシ。
- 一、束柱、三寸五分上下柄附建テ込ミ車止メ二寸角大釘ニテ打附クベシ。
- 一、焚口戸、杉七分板高内法高一尺二寸巾一尺一寸三角形裏襷一寸角二本宛ニ取附ケ開閉工合良ク取附クベシ。
- 一、レール、眞鍮長二十二尺經二分五厘甲丸一尺内外ニ釘穴血揉ミヲナシ引通良ク取附ケ長一寸五分以上ノ銅釘ニテ打附クベシ。

## (3) 煮熟竈仕様書

## 煮熟竈地形及擁壁ノ部

- 一、基礎根堀搗キ堅メ、根堀リハ別紙圖面ニ據リ堀リ取り其他ハ總テ濕乾室地形仕様ニ準ジ施工スベシ。
- 一、擁壁板枠、杉七分板ヲ使用シ合羽透目ナク摺リ合セ裏襷一尺五寸間以内ニ打附ケ位置及垂直矩手共正確ニ取設ケ相當材料ニテ腹起シ振止メ堅固ニ取附クベシ。
- 一、擁壁「コンクリート」、材料品質大サ調合共濕乾室基礎ニ準ジ施行スベシ。
- 一、上塗防水「モルタル」、擁壁外部及底面共厚五分以上塗立テ調合及工法共濕乾室仕様ニ準ジ施行スベシ。
- 一、調理室土間、叩キ敷八寸以上總堀リ割栗厚五寸目管共取交ゼ搗キ堅メ「コンクリート」厚三寸打込ミ材料品質大サ調合工法共前記基礎仕様ニ準ジ施工シ上塗り一、二「モルタル」ニテ厚三分以上塗立ツベシ。

一、排水溝 溝幅四寸  
深平均五寸敷相當布堀リ割栗石搗キ堅メ堰板杉七分板引通シ良ク取設ケ「コンクリート」及上塗り共前同斷施  
工スベシ。

一、下水蓋、杉七分板巾八寸裏棧大戸棧打附ケ架ケ渡スベシ。

### 煮熟竈ノ部

一、煮熟竈、煉瓦品質等級形狀共濕乾室煉瓦仕様ニ準ジ竈内部及煙道等火熱ニ接スル部分ハ耐火煉瓦ヲ使用スベシ。

一、煉瓦積用「モルタル」、指定ノ調合ニ依リ正確ナル量器ニテ量リ立テ煉リ合セ、耐火煉瓦ニ使用スル「モルタル」ハ雜  
物ノ混入ナキ良質耐火粘土ヲ使用シ容量ニテ約二割ノ沸化石灰ヲ加ヘ適量ノ清水ヲ用ヒテ充分煉リ合スベシ。

### 煉瓦積方

一、鑊釜竈、底面上煉瓦四段ヲ灰溜及風口底面トシ灰溜底面ヨリ煉瓦五段ヲ火床面トシ風口焚口共鑊鐵製金物積ミ込ム  
ベシ。

一、火床、壁正面ヨリ奥行三尺三寸五分幅一尺トシ正面壁煉瓦一枚厚サノ後方ニ「ロストル」枕鐵二本積込ミ長一尺八寸  
ノ「ロストル」十本前後各三分以内ノ間隙ヲ置キ配列シ、其後方煉瓦長手一枚ノ長サヲ「ロストル」面ト水平ニ積ミ立ツ  
ベシ。

一、側壁ノ高サハ煉瓦三段トシ上端一枚ノ隅角部ニハ丸身ヲ附スベシ。

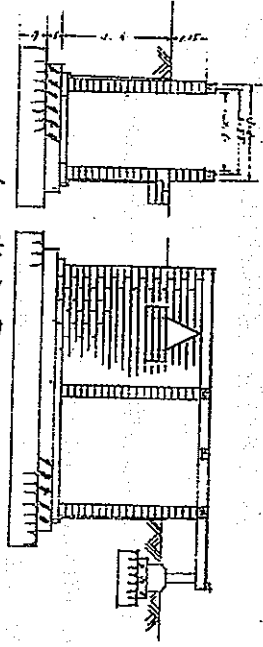
一、側壁上端ヨリ上部ノ燃燒室ハ高サ五寸直徑二尺二寸ノ圓形トシ中心ヲ正面ヨリ二尺五寸後方ニ設置ス、從テ燃燒室  
高サハ火床面ヨリ煉瓦五段トナリ其ノ上端ハ釜底ノ屈曲部ト適合シ釜ノ重量ヲ支フルト燃燒室ト煙道トヲ區割ス。

一、釜底ノ尖端部ト「ロストル」面トノ間隔ハ七寸五分乃至八寸ノ距離ヲ保タシムベシ。

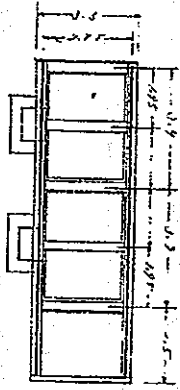
- 一、燃燒室上部後方ニ幅四寸ノ煙道登口積ミ明ケ右方ニ向ヒ弧狀ニ斜上シテ煙ヲ上部ノ煙道ニ導カシムベシ。
- 一、煙道ハ直徑三尺五寸ノ圓形トシ高サ一尺三寸周圍ハ半穹窿狀ニ積上ケ最上層煉瓦一枚ヲ直徑三尺一寸トシ釜ノ外周ト間隙二分五厘以下ヲ保チテ之レヲ適合其鏝ヲ支持セシムベシ。
- 一、煙道後部煙道登口ノ左側ニ厚二寸釜腹ニ適合スル堺壁ヲ設ケ其左側ニ煙道ヲ積ミ明クベシ。
- 一、煙道ハ幅六寸高サ煉瓦三段積ミトシ四十五度以下ノ角度ヲ以テ三個ノ竈共通ノ大煙道ニ至リ開口セシムベシ。
- 一、二竈共通ノ大煙道ト各竈ト小煙道トハ其上面ヲ水平ニスベシ。
- 一、竈ノ上端ハ釜鏝際ヨリ外部ニ向ヒ適當ノ傾斜ヲ附シ「モルタル」ニテ塗リ立テ溢水ノ排水ヲ便ニスベシ。
- 一、正面壁上端ハ煉瓦一枚通り積ミ上ゲ水ノ焚場ニ流入セザル設備ヲナスベシ。

#### (4) 煙突及煙道地形ノ部

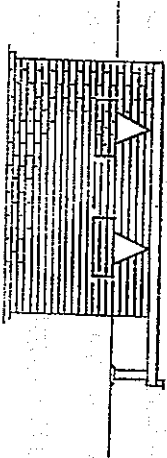
- 一、基礎根堀搗キ堅ハ根堀リハ別紙圖面ニ據リ堀リ取り其他濕乾室地形仕様ニ準ジ圖面ノ通り施工スベシ、但シ煙道地形搗キ堅ハ六七貫以上ノ胴突ニテ尺面當五回以上搗キ堅ムベシ。
- 一、基礎「コンクリート」材料品質調合法共濕乾室基礎仕様ニ準ジ圖面ノ通り施工スベシ。
- 一、煙突臺及煙道煉瓦品質等級形狀共濕乾室煉瓦仕様ニ準ジ使用スベシ。
- 一、煉瓦積「モルタル」材料調合法前同斷仕様ニ準ジ使用スベシ。
- 一、煉瓦積方濕乾室積方仕様ニ準據スベシ。
- 一、掃除口擁壁「コンクリート」及上塗「モルタル」共前記仕様ニ準ジ施工スベシ。
- 一、掃除口蓋「コンクリート」調合基礎同斷ニシテ圖面及指定ノ寸法ニ據リ仕拵ヘ何レモ係員示定ノ通り把手鐵物取附ク



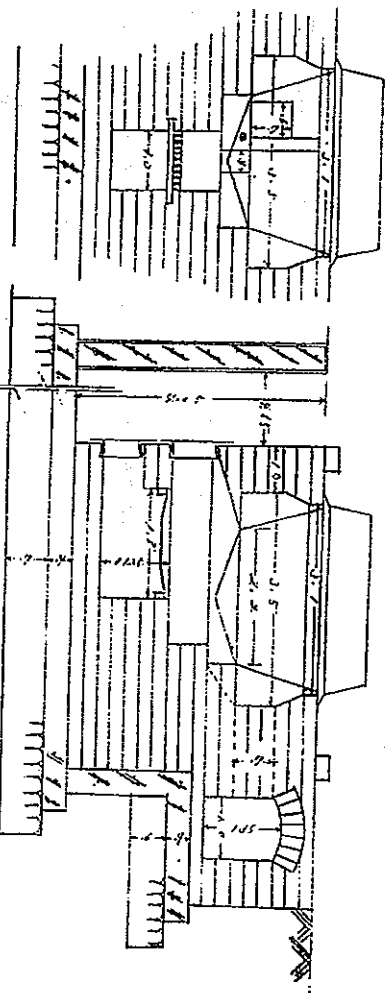
木山架断面图



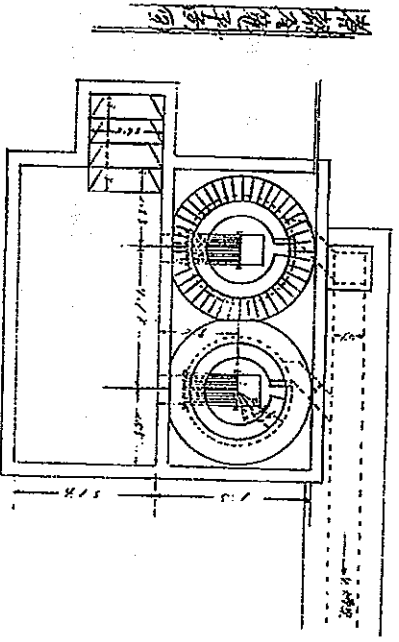
木山架断面图



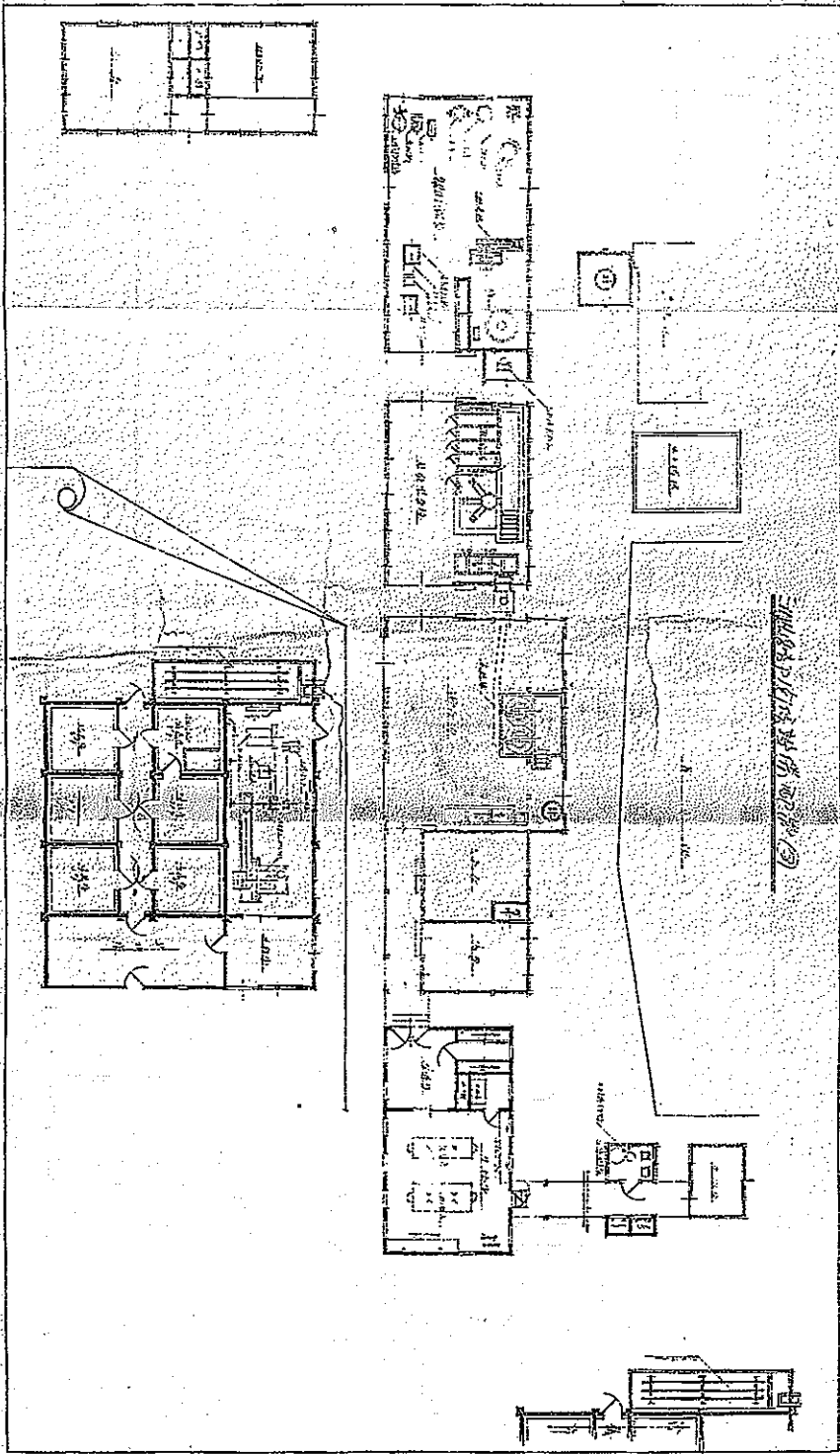
木山架断面图



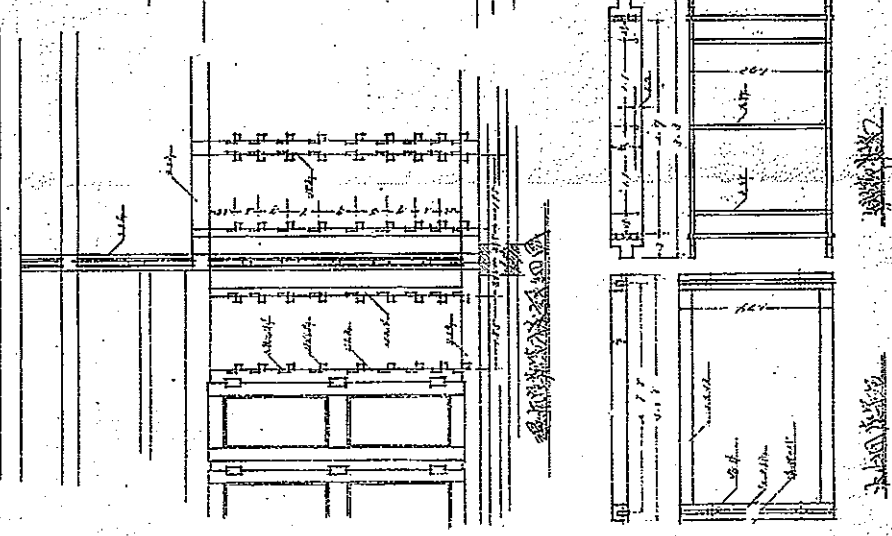
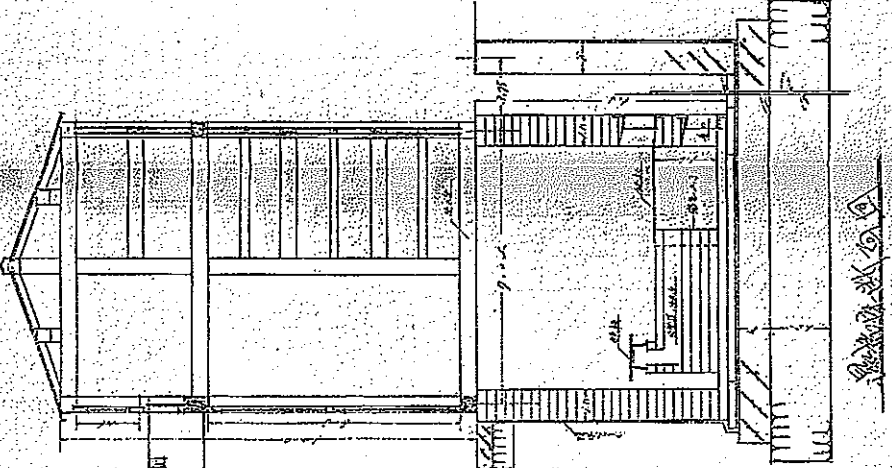
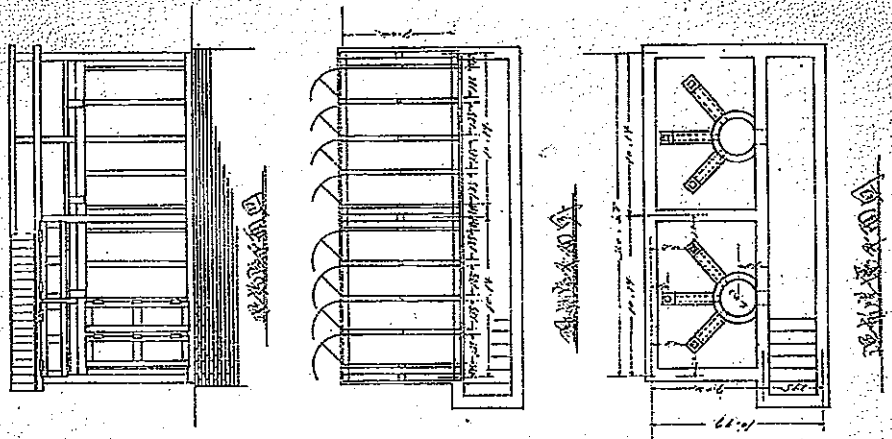
木山架断面图



木山架断面图



SHOULD BE IN THE CORRIDOR



一、煙突長サ三十尺内徑一尺二寸鐵板厚一分接手二寸以上重ネ掛ケ二寸間以内ニ鉸釘シ建附植ヘ込ミ「ボールド」ニテ占  
メ附ケ八番線ニテ控ヘ四方堅固ニ取附クベシ。

## 養殖部關係設備

アクアリウム室

鐵筋コンクリート造平家建

二坪二四

淡水養魚池

(但シ養魚水槽一箇、濾過水槽二箇及水道式ウオルターポンプ一號一臺附屬ス)

(イ) 甲 號 池

「コンクリート」造孵化池面積十二坪 (但シ一面三坪ニ區劃シ深二尺トス)

(ロ) 乙 號 池

「コンクリート」造養成池面積三十二坪 (但シ一面八坪深三尺トス)

(ハ) 丙 號 池

面積百五十七坪二五 (但シ自然ノ池ノ周圍ヲ石垣積トナシ水深凡ソ二尺トス)

但シ淡水養魚池ニハ井戸一箇所附屬シ水道式ウオルターポンプ一號一臺ヲ以テ給水ス。

鹹水養魚池「コンクリート」造面積三十三坪二七 (但シ埋管ニヨリ海水ト連絡セシメ深淺二様ニ區劃シ深部九尺淺部八尺トシ干潮ニ際シテモ深部三尺淺部二尺ノ水深ヲ保タシム)

物 置 木造平家建板葺

三坪